

国立国会図書館 鎌倉山料理献立 : 3巻 207-254

ガラス使用

但有食しほ 淨じゆん基き所しよの縁えん小連せうれんののさるさる唇しんと大廻板だいまいばん

有法ゆうぽう 意い勢せいを散ちりを鱗うろこ乃の紋もんハ

庖丁ほうちうのの旧印きういん時政ときまさ

又有身またあつみ 世よ悦えつの縁えん小連せうれんののさるさる唇しんと大廻板だいまいばん

透とほさぬ小粒こまぐら桐きりの紋もんと

まを分わの次つぎ印いんを忠ちゆう

責せき乃の去き

作者さくしや 萬宝識まんぼうし



えんご

上かみ



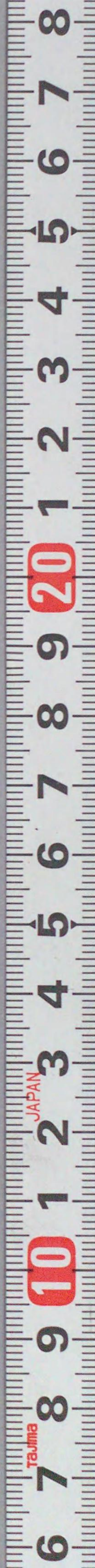


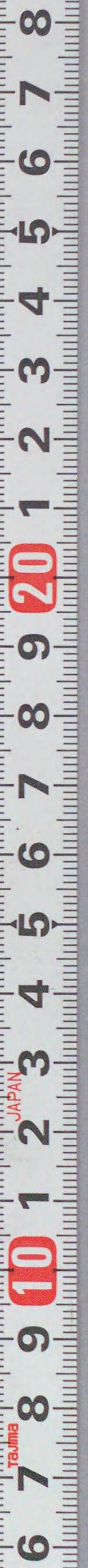


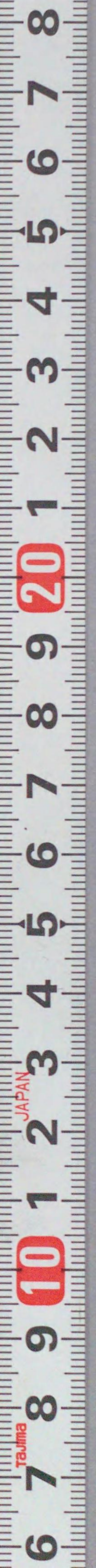
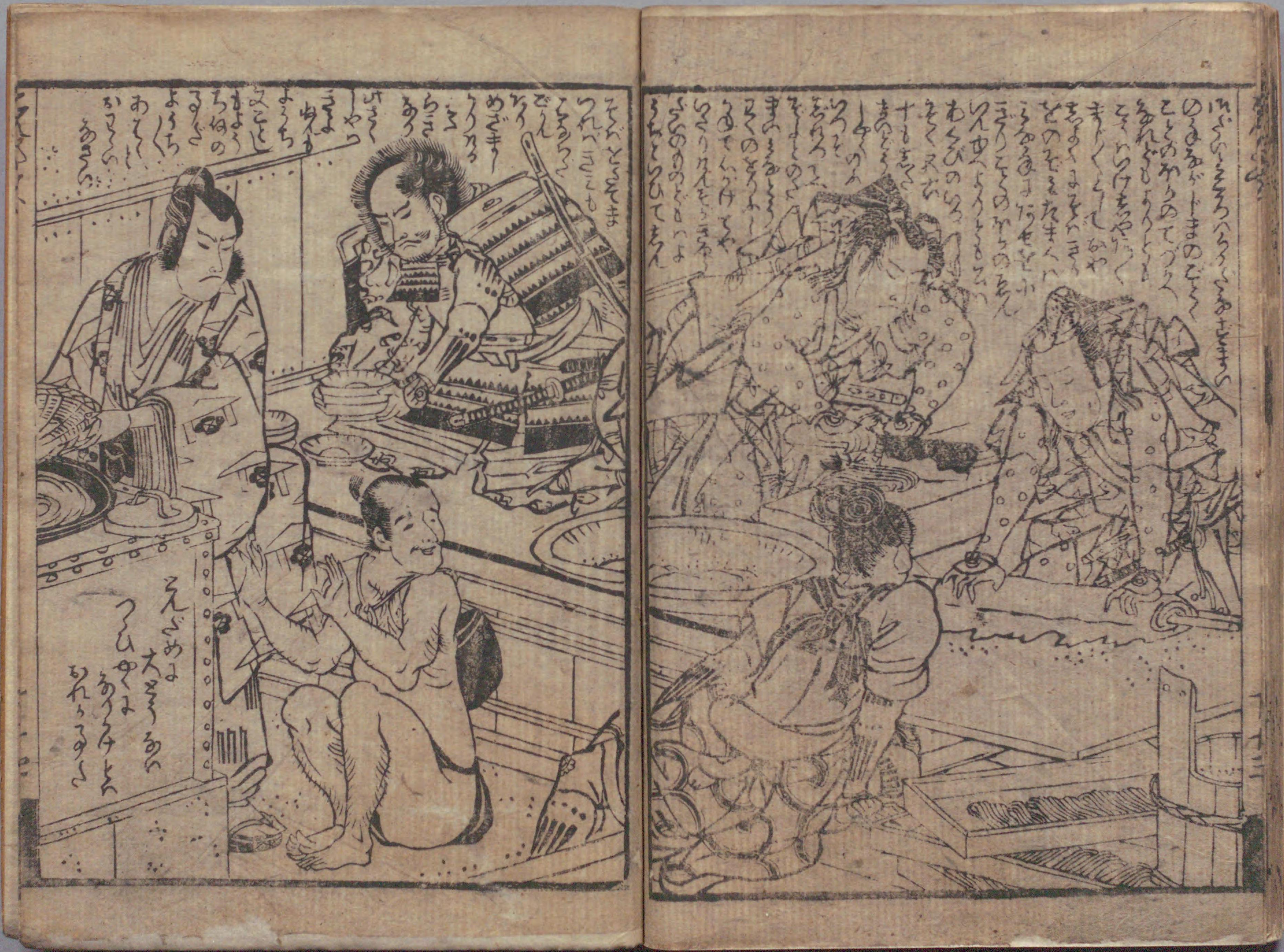








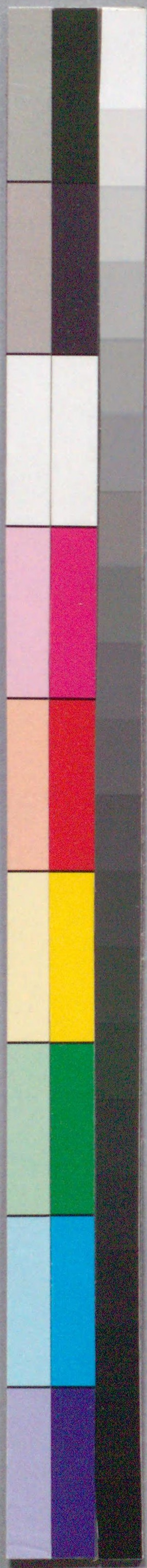






207
254





国立国会図書館 鎌倉山料理献立 : 3巻 207-254



ガラス使用

